

Profile

◆ 指揮

小山 洋治 Yoji Koyama

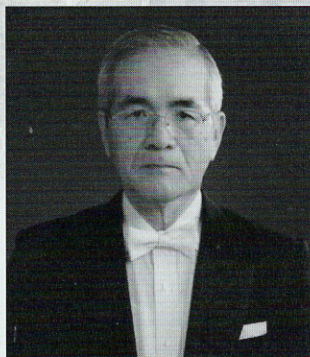
岡山大学法文学部法学科卒業後、岡山大学教育学部学士課程卒業。

在学中、岡山大学教育学部音楽教室定期演奏会で、菱川欣三郎氏指揮同管弦楽団でベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を独奏した。

2005年6月、保科洋氏の指揮で一夜にベートーヴェンとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を独奏する等、多くの協奏曲を独奏した。

リサイタルは、1978年以来8回岡山で行う。この間、東京、横浜、岡山、福山、九州一円におけるソナーレ弦楽四重奏団、ガボア弦楽四重奏団ヴァイオリニスト、ゼフィール合奏団指揮・コンサートマスターとして出演。

岡山大学教育学部非常勤講師（ヴァイオリン、ヴィオラ）を務めた。岡山県立岡山芳泉高等学校教諭を最後に定年退職。ヴァイオリンを故 木村善之、故 竹本洋、市原利彦、浦川宜也、指揮を早川正昭の各氏に師事。



◆ オーボエ

上月 真子 Masako Kozuki

倉敷市出身。愛知県立芸術大学、ドイツ・デトモルト音楽大学卒。ベルギッシェシンフォニカー（ゾーリングゲン）オーボエ奏者、デトモルト室内オーケストラ首席奏者、デトモルト音楽大学講師を経て2019年に帰国。演奏活動、オーボエリード製作販売（オーボエリード アトリエ KOZUKI、<https://oboe-reed-kozuki.com/>）を行う。これまでにオーボエを有道惇氏、小畑喜昭氏、ゲルノート・シュマルフス氏、ヨーゼフ・キシユ氏に師事。



◆ ヴァイオリン

白石 良子 Yoshiko Shiraishi

岡山大学法文学部文学科卒業。

岡山市ジュニアオーケストラ、岡山大学交響楽団を経て、大学在学中よりゼフィール合奏団に参加。

ゼフィール合奏団では2012年よりコンサートミストレスとしてベートーヴェン交響曲連続演奏を昨年全曲達成。

2019年にはバッハの2つのバイオリンのための協奏曲を演奏。

最近では地域のオーケストラにも所属し、活動の幅を広げている。

故 竹本洋、故 木村善之の両氏に師事。日本音楽療法学会認定音楽療法士。



ゼフィール合奏団

1971年夏、精緻なアンサンブルをめざして岡山大学交響楽団のOBが中心となり、「ゼフィール室内合奏団」として創立されました。ゼフィールの名称は、ギリシャ神話の実りの秋をもたらす西風の神ゼフィロスにちなんで付けたものです。創立当時は木管五重奏と弦楽合奏のジョイント方式で定期演奏会を行い、1977年夏には、高校総体のため御来岡の当時の皇太子殿下、皇太子妃殿下、浩宮殿下歓迎演奏の栄に浴しました。

1986年の第17回定期演奏会から名称を「ゼフィール合奏団」に変更し、今日まで弦楽合奏の神髄を求め、たゆまぬ努力を続けています。また、2010年からベートーヴェン交響曲チクルスを始め、昨年第9番「合唱付」を演奏して完結しました。常任指揮者は創立以来小山洋治。

